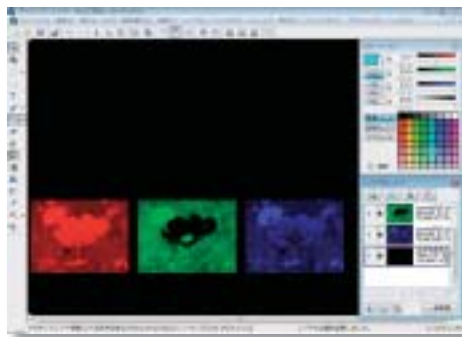


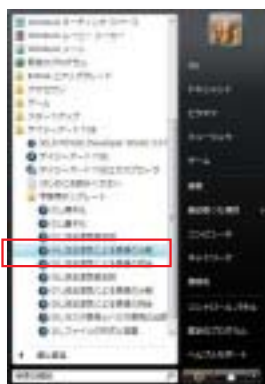
加法混色による画像の分解

加法混色の概念に基づき写真をRGBに分解して色情報の変化をみるができます。ここでは1枚の写真をR(赤)G(緑)B(青)の光の三原色へ複製分解します。分解した写真の色の強さをRGBごとに見ることができます。



テンプレートの起動方法

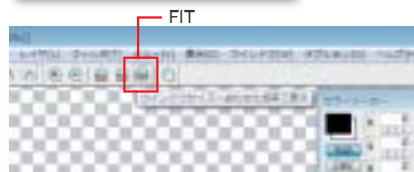
- 1 Windowsのタスクバーにある「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「スタート」メニューの「プログラム」「デジアート7SE」「学習用テンプレート」から「加法混色による画像の分解」を選択します。
- 3 「加法混色による画像の分解」を選択すると学習用テンプレートが起動します。



- ④ テンプレートが起動したら「最大化」をクリックし、画面を最大化します。



- ⑤ ツールバーの「FIT」をクリックし、テンプレートをキャンバスに合わせます。

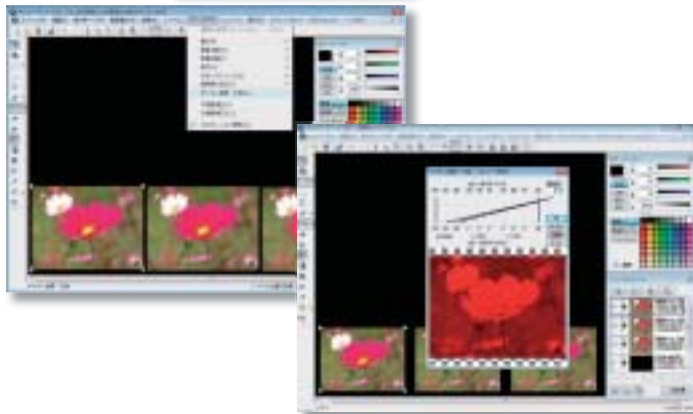


操作手順

- ① ツールバーの「レイヤの位置と倍率」をクリックし、レイヤマネージャの「元画像」のレイヤを選択します。
- ② レイヤマネージャの「アクティブレイヤの複製」を2回クリックし、元画像を3枚に増やします。
- ③ 複製した「元画像」を3枚横に並べます。並べる際、レイヤを「レイヤマネージャ」から選択し、ドラッグをして移動します。
- ④ 最初は元画像を赤 (R) に変換します。「レイヤマネージャ」で元画像を1枚選択しメニューバーの「フィルタ」から「チャンネル複写・交換」を選択します。「チャンネル複写・交換:パラメータ設定」のサブウィンドウが表示されます。

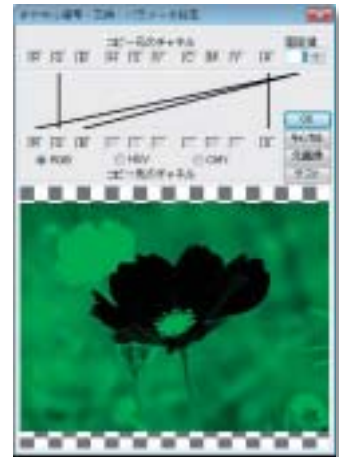


- ⑤ 光の調整に入ります。
「R」の罫線を残し「G」と「B」の罫線を一番右の「固定値」の下までドラッグをして移動します。設定が終わったら「OK」をクリックします。
『固定値』が『0』になっていることを確認してください。

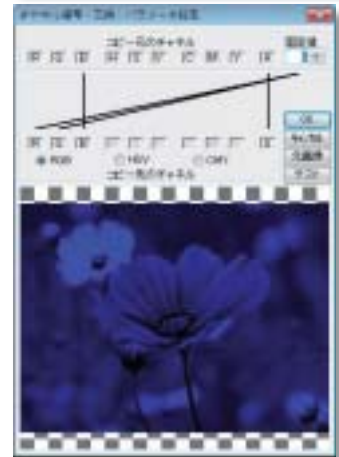


6 次は緑 (G) へ変換します。

[レイヤマネージャ] から2枚目の元画像を選択し、④~⑤の工程を行ないます。
[G]の罫線を残し(R)と(B)の罫線を一番右の「固定値」の下までドラッグして移動します。設定が終わりましたら「OK」をクリックします。



7 青 (B) への変換も同じ工程になります。(B)の罫線を残し(R)と(G)の罫線を一番右の「固定値」の下までドラッグして移動します。



8 分解したRGBのレイヤを「加法混色」にします。

レイヤマネージャ内の赤 (R) のレイヤの上でダブルクリックします。

[レイヤの設定] が表示されます。

[合成表示] から「加法混色」を選択します。

~ の作業を緑 (G) と青 (B) のレイヤにも行います。

すべてのレイヤを「加法混色」にしたら分解の完了です。

